

令和4年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第2回）

議事概要

1 日時：令和4年8月8日（月） 13：25～16：50

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子 圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長

◎岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

眞鍋 昇 大阪国際大学教授（学長補佐）

丸井 英二 人間総合科学大学教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 神戸薬科大学客員教授

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか3名が、事務局から鋤柄事務局長ほか8名が出席した。

4 議事概要

（1）令和3年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 令和3年度に終了した研究課題（前回部会の残り5課題）の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○ 各委員の意見を取りまとめ、各課題の評価所見（案）を作成した上で、次回の事後評価部会で当該案の審議を行うこととなった。

<事後評価ヒアリング審査対象課題>

- ・ アクリルアミドばく露による発がんリスク評価～大規模コホート研究保存検体を用いたコホート内症例対照研究による検討
- ・ 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAのリスク評価に資する科学的知見の検討に関する研究
- ・ ベイズ統計学に基づく推定手法を活用したアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究
- ・ アニサキス汚染実態調査およびリスク低減策の評価に関する研究
- ・ 食肉由来耐性菌の全ゲノムシーケンスを用いた薬剤耐性特性解析に関する研究

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)